

セリ導入肥育素牛での短期肥育における 枝肉成績は通常出荷(全国平均)と同等である

福島県農業総合センター 畜産研究所 沼尻分場

1 部門名

畜産 - 肉用牛 - 畜産栄養

2 担当者名

妹尾毅、遠藤幸洋、佐藤亮一、小田康典、門屋義勝

3 要旨

近年、配合飼料価格が高騰し肥育経営を圧迫していることから飼料費の低減を図るため、セリ導入後の飼い直し期間中に粗飼料を増量給与する短期肥育を実施した。

その結果、粗飼料を強化した区と対照区とでは枝肉成績に差は無かったが、両区とも全国平均より飼料費は低減し、肥育回転率が上がることで収益性が向上したと考えられた。

(1) 飼い直し期間中の粗飼料摂取量は粗飼料強化区が対照区に比べ 14.2 ポイント高かった(表 1)。

(2) 枝肉形質に係る枝肉成績について両区に差は無く、全国平均と同等であった(表 2)。

(3) 両区とも全国平均より飼料費は低減し、肥育回転率が上がることで収益性が向上したと考えられた(表 3)。

	粗飼料	濃厚飼料
粗飼料強化区 (60日間) (n=5)	241.2 (51.8%)	224.6 (48.2%)
対照区 (27日間) (n=5)	79.5 (37.6%)	132.0 (62.4%)

注 重量比

	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準値	BMSNo.	左記内訳
粗飼料強化区 (n=4)	25.8 ± 0.081	520.6 ± 9.310	64 ± 3.1	8.5 ± 0.11	3.0 ± 0.45	74.2 ± 0.690	7 ± 1	11,6,5,5
対照区 (n=5)	25.5 ± 0.103	493.6 ± 17.10	58 ± 4.0	8.2 ± 0.24	2.5 ± 0.32	74.0 ± 0.439	7 ± 1	9,7,7,6,4
全国平均 ^{注1}	29.4	513.8	66	8.2	2.5	74.9	8	

注1 全国平均(去勢)「令和2年度枝肉成績とりまとめ(独)家畜改良センター」より。
 注2 平均値±標準誤差。
 注3 枝肉重量、ロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪、歩留基準値、BMSNo.について有意差無し (t-test,p<0.05)。

	販売価格 A	導入価格 B	飼料費 C	収支 D (A-B-C)	肥育日数 E	肥育回転率 F (365日/E)	年間収支 D*F
粗飼料強化区 (n=4)	1,328,244	859,100	233,394	235,750	519	0.70	165,797
対照区 (n=5)	1,267,037	834,408	224,461	208,168	513	0.71	148,112
全国平均 ^{注1}	1,205,545	830,447	334,711	40,387	627	0.58	23,511

注1 「令和2年度畜産物生産費統計(去勢若齢肥育牛1頭あたり(農林水産省))」より。

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成 30～令和 3 年度

(2) 研究課題名 肉用牛の安定生産技術の確立〔JA グループ福島による福島県産農産物競争力強化事業、JA グループ福島寄附金〕

5 主な参考文献・資料

なし